

## 議 事 概 要

分科会名称	伊勢市地域包括ケア推進協議会 第5回 認知症にやさしいまちづくり分科会
開催日時	令和6年2月15日(木) 16:00~17:10
開催場所	伊勢市福祉総合支援センター 会議室1
出席した委員	7名 村瀬分科会長、森川委員、牛谷委員 〔臨時委員〕 山川委員(職務代理者)、杉谷委員、田中委員、 前田委員
出席した事務局職員	12名 福祉総合支援センター 4名 各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員 6名 地域包括支援センター長 1名 第1層生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員) 1名
傍聴者	0名
議題及び協議概要	<p>○説明</p> <p>1. 伊勢市の認知症施策の現状報告「伊勢市の認知症施策の取り組み状況」(資料1)</p> <p>2. 令和6年度認知症施策の取組について(資料2)</p> <p>○事務局の説明後の意見等は以下のとおりである。</p> <p>(委員)</p> <p>認知症サポーターの養成に関して、キッズサポーターや様々な取り組みにより、地域全体で認知症への理解が進んでいるが、若年性の認知症については、高齢者の施策のなかでは難しいのではないかと。若年性認知症の現況がつかめているか。</p> <p>(事務局)</p> <p>つかめていない状況である。現在は、相談先が明確になっていないことも考えられる。令和6年度は若年性認知症をテーマにした映画上映を行い、若年性認知症の理解の促進と相談先として福祉総合支援センターや地域包括支援センターを周知していく。また、地域で開催する認知症カフェは誰でも参加できるカフェとしたり、名称を工夫し参加しやすいカフェを設けていく。</p> <p>(委員)</p> <p>若年性認知症への取り組みは、地道なことでそれをつなげていってほしい。</p>

	<p>(委員)</p> <p>地域の集まりで、認知症の相談への対応はできるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>地域包括支援センターで対応していく。その後、必要な場合は認知症の専門医師や福祉専門職による認知症初期集中支援チームで支援方法の検討を行い、地域包括支援センターが支援を行っていく。</p> <p>(委員)</p> <p>小学校、中学校へのキッズサポーター養成講座をこれだけ開催し、若い世代へ認知症への理解の種まきをしていることは、これから先の認知症への理解につながり大切なことである。</p> <p>キッズサポーター養成講座はどのようにしてすすめていったのか。</p> <p>(認知症地域支援推進員 1)</p> <p>まちづくり協議会の役員やPTAに協力いただき学校に働きかけ開催した。また、そこから他の学校へつながったこともある。</p> <p>(認知症地域支援推進員 2)</p> <p>生活支援コーディネーターに相談し民生委員から学校へ声をかけてもらい開催できた。好評であり、来年度の実施にもつながっている。</p> <p>(委員)</p> <p>各地域包括同士も連携してキッズサポーター養成講座を広げてほしい。</p> <p>(委員)</p> <p>今後、災害があったときの避難所等での認知症の方への対応について盛り込んでいってほしい。</p> <p>(事務局)</p> <p>会議内容は3月22日開催の地域包括ケア推進協議会で報告する。委員の任期は3月31日で終了。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>
--	---